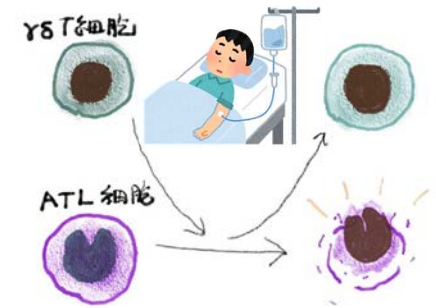


課題名 皮膚病変を伴う成人T細胞白血病に対する免疫エフェクター細胞療法の事業化

技術シーズの概要

成人T細胞白血病(ATL)は抗がん剤など既存の治療に抵抗性の症例も多く、予後の悪い。本課題は $\gamma\delta$ 型T細胞と呼ばれるリンパ球の一群がATL細胞を効率的に傷害することに着目し、ATL患者に $\gamma\delta$ 型T細胞を輸注する細胞療法の技術を医師主導型治験を通して新規医療事業に展開し、アンメットメディカルニーズに対処する細胞医療モダリティを確立する



ビジネスモデル(申請時)

ATL患者のリクルートを行い、今回設立するベンチャーで、ATL患者を対象とした細胞療法を展開していく。治療方法が確立するまでは、公的資金やベンチャーキャピタルからの資金を利用し、臨床研究を進め、統計的に有効性が見いだされた段階で、保険治療適用を目指し、自己資金で治療を提供する事業化を目指す。その技術が確立されれば国内に展開し協力体制を築き、他施設臨床試験を行う。

活動計画(申請時)

細胞療法に用いる $\gamma\delta$ 型T細胞が拡大培養によって十分な精製度と総数を示すか検討するとともに細胞障害能力を有するかを試験管内で確認する。そしてATL細胞株あるいは患者末梢血中のATL細胞に対する細胞障害性を確認する。その際、既存の治療との併用も確認を行う。以上より医師主導型臨床治験の根拠となる非臨床研究データを構築する。有効性が確認されたら資金調達を行い、医師主導型治験の実施体制を整備する。臨床研究の被験者リクルートの際、細胞療法の印象、実施を希望する際の理由や不安などの意見を集積し細胞療法の構想に活かす。

